



平成24年2月6日
門 司 税 関

平成23年の門司税関における関税法違反事件の摘発状況等について

門司税関は、平成23年の1年間に管内の空港や港湾等で摘発した不正薬物の密輸、その他の関税法違反事件の摘発状況等をまとめましたのでお知らせします。

1 不正薬物

- ◆ 不正薬物の密輸入事犯の摘発件数は、8件（対前年比 80%）
- ◆ 押収量は、
 - ◇ 覚醒剤・大麻等（向精神薬等の錠剤型薬物を除く。）は、約8.6kg（対前年比 381%）
 - ◇ 向精神薬等の錠剤型薬物は、約1,060錠（対前年比96%）

【覚醒剤の摘発】

覚醒剤の密輸入摘発件数は5件（対前年比167%）、押収量は約8.6kg（対前年比388%）となっており、摘発件数、押収量ともに前年に比べ増加した。

【大麻の摘発】

大麻の密輸入摘発件数は、1件（対前年比50%）、押収量は約7g（対前年比16%）となっており、前年に比べ摘発件数、押収量は減少した。

【仕出地別】

覚醒剤の摘発5件のうち、2件が中国仕出しであったほか、フランス、カンボジア、マリ（アフリカ）仕出しがそれぞれ1件ずつであった。

大麻の摘発1件はアメリカ仕出し、錠剤型薬物の摘発2件は、中国、パキスタン仕出しがそれぞれ1件ずつであった。

【密輸形態別】

不正薬物の密輸入事犯8件のうち、航空機旅客が3件、船舶旅客が1件、国際郵便物を利用したものが4件であった。

2 その他

北朝鮮向けのたばこ等を中国向けと偽った虚偽申告輸出事犯を告発した。

3 社会悪事犯に係る物件別摘発件数及び押収数量

物件別	年 別		19年	20年	21年	22年	23年	前年比
(1) 不正薬物								
覚醒剤	(件)	5	9	8	3	5	167%	
	(g)	4,963.63	301,050.37	4,327.52	2,229.16	8,648.69	388%	
大麻	(件)	7	4	2	2	1	50%	
	(g)	41.18	1,416.86	706.45	44.58	7.10	16%	
	(本)	0	0	0	0	0	—	
	大麻草	(件)	4	3	1	2	1	50%
		(g)	19.46	2.28	0.97	44.58	7.10	16%
	大麻樹脂	(件)	3	1	1	0	0	—
	(g)	21.72	1,414.58	705.48			—	
大麻たばこ	(件)	0	0	0	0	0	—	
	(本)						—	
ヘロイン	(件)	0	0	0	0	0	—	
	(g)						—	
コカイン	(件)	0	0	0	0	0	—	
	(g)						—	
あへん	(件)	0	0	0	0	0	—	
	(g)						—	
MDMA	(件)	3	0	0	1	0	—	
	(錠)	152,665			95		—	
向精神薬	(件)	1	5	3	2	2	100%	
	(錠)	42	10,922	500	1,017	1,069	105%	
その他	(件)	1	1	3	2	1	50%	
合 計	(件)	17	19	16	10	9	90%	
	(g)	5,004.81	302,467.23	5,033.97	2,273.74	8,655.79	381%	
	(錠)	152,707	10,922	500	1,112	1,069	96%	
(2) 銃砲等								
銃砲	(件)	1	0	0	0	0	—	
	(丁)	4						
実砲	(件)	0	0	0	0	0	—	
	(発)							

(注) 1 一事件で数種類の物件を押収した事例があるので、合計件数と1頁の摘発件数とは一致しないことがある。

2 銃砲には空気銃を含み、実包には空気銃弾を含まない。

【門司税関における主な摘発事例】

《覚醒剤》

【事例 1】

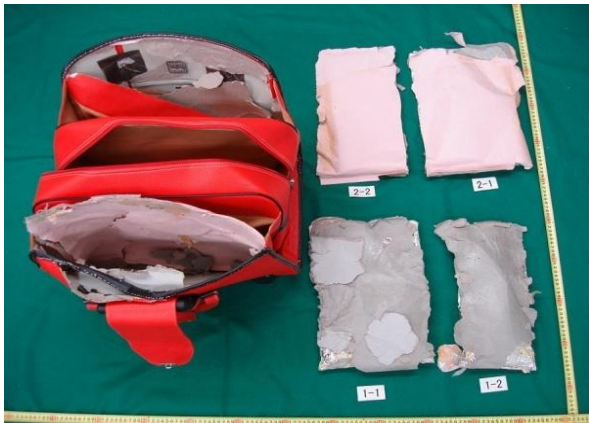
平成23年3月3日、福岡空港税関支署において、中国から到着した日本人男性の携帯品検査により、携行していたチョコレート菓子に偽装隠匿した

覚醒剤 約2.5キログラム
を摘発した。

【事例 2】

平成23年4月10日、福岡空港税関支署において、フランスから韓国を經由して到着したポーランド人女性の携帯品検査により、ソフトキャリーケースの両側面を工作して隠匿された

覚醒剤 約2.7キログラム
を摘発した。



【事例 3】

平成23年7月10日、福岡空港税関支署において、マリから韓国を經由して到着した日本人男性の携帯品検査により、フライトバッグの側面及び仕切り板等を工作して隠匿された

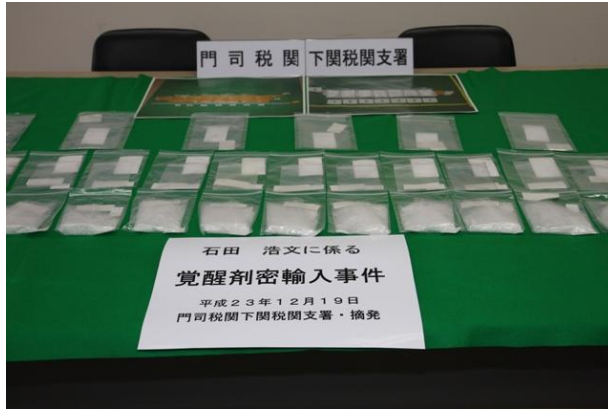
覚醒剤 約2.5キログラム
を摘発した。



【事例4】

平成23年11月30日、下関税関支署において、中国から到着した日本人男性の携帯品検査により、Tシャツの上に腹部から腰部にガムテープで巻き付け、ジャンパー等を着用して身辺に隠匿していた

覚醒剤 約1キログラム
を摘発した。



《大麻》

【事例5】

平成23年6月20日、福岡外郵便出張所において、米国から到着したEMS（国際スピード郵便）の輸入検査により、ピーナツバターの入った円筒状プラスチック容器に隠匿された

大麻草 約7グラム
を摘発した。



《向精神薬》

【事例6】

平成23年11月29日、福岡外郵出張所において、パキスタンから到着したEMS（国際スピード郵便）の輸入検査により、粘着テープを幾重にも巻いて隠匿された

向精神薬 約1,000錠

を摘発した。



《その他》

【事例7】

平成20年11月から12月の間、

たばこ3万本、中古タイヤ約400本等

を、最終仕向地が北朝鮮であるにもかかわらず、中国が最終仕向地であると虚偽の輸出申告をして不正に輸出した法人等を、平成23年12月15日、関税法違反で告発した。

〔参考資料〕 門司税関における関税法違反事件の犯則態様別処分件数

		19年	20年	21年	22年	23年	前年比	構成比
告 発	禁制品輸出入事犯	23	17	14	8	11	138%	92%
	関税ほ脱事犯	0	0	0	0	0	—	—
	無許可輸出入事犯	2	1	3	0	0	—	—
	虚偽申告事犯	1	0	0	3	1	33%	8%
	その他秩序犯	0	0	0	0	0	—	—
	計	26	18	17	11	12	109%	100%
通 告	禁制品輸出入事犯	43	31	30	34	17	50%	37%
	関税ほ脱事犯	4	7	4	2	4	200%	9%
	無許可輸出入事犯	24	13	37	11	25	227%	54%
	虚偽申告事犯	0	0	2	0	0	—	—
	その他秩序犯	2	0	2	0	0	—	—
	計	73	51	75	47	46	98%	100%



連絡・問合せ先 門司税関 税関広報広聴室

TEL 050-3530-8333